

平成 27 年 結核登録者情報調査年報集計結果について

当該年報は、平成 27 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日の間に、新たに登録された結核患者及び潜在性結核感染症（LTBI）の者と、平成 27 年 12 月 31 日現在に登録されているすべての登録者に関する状況について、感染症サーベイランス（NESID）上の結核登録者情報システムに全国の保健所から入力されたものを「結核登録者情報調査年報」として取りまとめたものである。

～表ごとの解説～

【表 1 諸外国と日本の結核罹患率について】

多くの先進国では、結核罹患率は低まん延国の水準である 10 を下回っているが、日本は 14.4 となっており、低まん延国の水準には至っていない。

【表 2 結核罹患率の都道府県別おもな順位について】

都道府県別の罹患率は、大阪府、兵庫県、東京都、大分県、奈良県の順に高くなっており、山形県、長野県、宮城県、秋田県、山梨県の順に低くなっている。中でも大阪府の罹患率は 23.5 であり、同府においては、大阪市の罹患率が最も高く、34.4 となっている。

【表 3 結核の死亡数及び死亡率の年次推移について】

平成 27 年の結核による死亡数は 1,955 人（概数）で、前年から 145 人減少した。死亡率は 1.7 から 1.6 に、死因順位は 26 位から 29 位になり、いずれも前年より低下している。

【表 4 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移について】

- （１） 平成 27 年に新たに結核患者として登録された者（新登録結核患者）の数は 18,280 人で、前年から 1,335 人減少した。減少率は、平成 25 年から平成 26 年にかけては 4.3%、平成 26 年から平成 27 年にかけては 6.8%となり、減少幅は 2.5 ポイント大きくなっている。（表 4－1）
- （２） 平成 27 年の罹患率（人口 10 万対）は 14.4 であり、前年から 1.0 減少した。減少率は、平成 25 年から平成 26 年にかけては 4.3%、平成 26 年から平成 27 年にかけては 6.5%となり、減少幅は 2.2 ポイント大きくなっている。（表 4－1、図 1）

(3) 菌喀痰塗抹陽性肺結核の患者数は 7,131 人で、前年から 520 人減少している。(表 4-2)

(4) 菌喀痰塗抹陽性肺結核の罹患率(人口 10 万対)は 5.6 であり、前年から 0.4 減少した。菌喀痰塗抹陽性肺結核の患者が全体に占める割合は 39.0%であり、前年と同じであった。(表 4-2)

【表 5 年次別・年齢階級別 新登録結核患者数および潜在性結核感染症新登録者数について】

(1) 年齢階級別の新登録結核患者数は 0~4 歳を除き減少した。年齢階級別では、80 歳以上で減少数が最も大きく、388 人減少した。全体に占める割合は、80 歳以上が 38.3%となっている。(表 5-1)

(2) 年齢階級別の菌喀痰塗抹陽性肺結核新登録患者数は、0~4 歳、15~19 歳及び 30~39 歳で 10 人未満の微増となっているが、他の年齢階級では減少した。減少幅は、70~79 歳が最も大きく、170 人減少した。全体に占める割合は、80 歳以上が 43.7%と最も大きくなっている。(表 5-2)

(3) 平成 27 年に新たに登録された小児結核患者のうち、重症例と考えられる粟粒結核及び結核性髄膜炎患者数はそれぞれ 1 人となり、前年から減少している。(表 5-3)

(4) 平成 27 年に新たに登録された潜在性結核感染症の者の数は、6,675 人で、前年から 887 人減少した。年齢階級別では、40~49 歳で最も大きく、305 人の減少となっている。一方、70~79 歳、80 歳以上の年齢階級では、100 人以上の増加となっている。(表 5-4)

(5) 新登録結核患者数に対する潜在性結核感染症新登録者数の比は 14 歳以下の年齢階級で 1 以上となっており、潜在性結核感染症新登録者数の方が多くなっている。一方、15 歳以上の年齢階級では、1 未満となっており、新登録結核患者数の方が多くなっている。(表 5-5)

(6) 職業別では、全体の潜在性結核感染症新登録者数に占める医療職の割合は、前年の 29.1%から 26.7%に減少した。常勤職(医療職、接客業、教員・保育士を除く)の割合についても、前年の 21.2%から 18.1%に減少した。一方、無職・その他が全体に占める割合は、前年の 20.9%から 25.2%に増加している。(表 5-6)

(7) 平成 27 年の外国生まれ新登録結核患者数は 1,164 人であり、前年から 63 人増加した。年齢階級別では、20~29 歳で新登録結核患者における外国生まれの者の割合が 50.1%となっている。(表 5-7)

- (8) 外国生まれ新登録結核患者のうち、入国5年以内の者は505人であり、前年から68人増加した。特に20～29歳の年齢階級では、前年から50人増加し、351人となっている。(表5-8)

【表6 年次別・年齢階級別 結核罹患率について】

- (1) 年齢階級別の結核罹患率は、高齢層ほど高くなっており、70～79歳では26.9、80歳以上では70.8となっている。(表6-1)
- (2) 菌喀痰塗抹陽性肺結核の罹患率は、高齢層ほど高くなっており、70～79歳では10.1、80歳以上では31.5となっている。(表6-2)

【表7 新登録結核患者数及び結核罹患率 都道府県別・年次推移について】

- (1) 都道府県別の新登録結核患者数は、47都道府県のうち10の県で増加した。新登録結核患者数が最も多いのは東京都の2,306人、次いで大阪府の2,074人となっている。(表7-1)
- (2) 都道府県別の結核罹患率は、47都道府県のうち10の県で増加した。また、罹患率が10を下回った都道府県は、前年の6県から9道県に増加した。罹患率が最も低いのは山形県であり、7.3となっている。(表7-2)

【表8 年末時結核登録者数及び有病率の年次推移について】

平成27年末現在の結核登録者数は44,888人であり、前年の47,845人から2,957人減少した。そのうち、活動性全結核の患者数は12,534人で、前年より979人減少した。また、平成27年末の結核有病率は前年の10.6から0.7減少し、9.9となっている。

【表9～表14 新登録結核患者の疫学的特徴について】

＜再治療患者＞

平成27年の新登録結核患者のうち再治療患者は1,032人となっている。このうち、前回治療年が2000年以降の者は622人であり、再治療患者のうちの60.3%となっている。(表9)

＜発見の遅れ＞

- (ア) 平成27年の新登録肺結核患者のうち有症状の者を対象として、受診が遅れる(症状発現から受診までの期間が2か月以上の割合)患者の割合は20.0%となっている。このうち30～59歳の有症状菌喀痰塗抹陽性肺結核患者に限定すると、受診が遅れる患者の割合は37.1%となっている。(表10-1)

(イ) 診断が遅れる（受診から結核の診断までの期間が1か月以上）患者の割合は21.5%となっている。（表10－2）

(ウ) 発見が遅れる（症状発現から結核の診断までの期間が3か月以上）患者の割合は20.4%となっている。（表10－3）

<薬剤耐性>

平成27年の新登録肺結核培養陽性結核患者の薬剤感受性検査結果より、多剤耐性肺結核患者数（INH, RFP 両剤耐性の者）は48人となっており、全新登録肺結核培養陽性結核患者の0.5%となっている。また、薬剤感受性検査結果が判明した者のうち、主要4剤（HRSE）全ての薬剤に対し感受性のある患者の割合は89.2%となっている。（表11）

<糖尿病、HIV合併>

平成27年の新登録結核患者のうち、糖尿病を合併した患者は2,686人となっており、全新登録結核患者の14.7%となっている。また、HIV検査を実施した患者は1,514人で全新登録結核患者の8.3%に当たり、このうちHIV陽性だった者は40人で、全新登録結核患者の0.2%となっている。（表12）

<医療従事者>

(ア) 平成27年の新登録結核患者のうち、看護師・保健師の登録患者は219人であり、全新登録結核患者の1.2%となっている。年齢階級別では30～39歳が最も多く、同年齢階級の5.7%となっている。（表13－1）

(イ) 平成27年の新登録結核患者のうち、医師の登録患者は61人であり、全新登録結核患者の0.3%となっている。年齢階級別では30～39歳が最も多く、同年齢階級の1.1%となっている。（表13－2）

(ウ) 平成27年の新登録結核患者のうち、理学療法士、作業療法士、検査技師、放射線技師など、看護師・保健師・医師以外の者で医療機関に勤務する感染リスクが高い者の登録患者は264人であり、全新登録結核患者の1.4%となっている。年齢階級別では30～39歳が最も多く、同年齢階級の5.6%となっている。（表13－3）

<無職臨時日雇など>

平成27年の新登録結核患者のうち、登録時の年齢が20～59歳であって、登録時の職業が無職臨時日雇等であった者は1,172人となっており、20～59歳の全新登録結核患者の23.7%となっている。高齢層ほど患者数は多くなっており、55～59歳では同年齢階級の38.3%となっている。また、男性の患者に占める無職臨時日雇等の者の割合は、同年齢階級の40.8%となっている。（表14－1、表14－2）

表１．諸外国と日本の結核罹患率

国 名	罹 患 率	年 次
米 国	2.8	2014
カナダ	4.4	2014
オランダ	4.8	2014
イタリア	5.1	2013
デンマーク	5.2	2014
ドイツ	5.4	2014
オーストラリア	5.6	2014
スウェーデン	6.5	2014
フランス	7.1	2014
英 国	10.0	2014
日 本	14.4	2015

（諸外国のデータは、Global Tuberculosis Control WHO Report 2015 より）

多くの先進国では、結核罹患率は低まん延国の水準である10を下回っているが、日本は14.4となっており、低まん延国の水準には至っていない。

表２．結核罹患率の都道府県別おもな順位

	都道府県名	罹 患 率
罹患率の低い５県	山形	7.3
	長野	8.3
	宮城	8.5
	秋田	8.5
	山梨	8.7
罹患率の高い５都府県	大阪	23.5
	兵庫	17.1
	東京	17.1
	大分	17.1
	奈良	16.8

同率の場合は小数点2位以下で順位を決定

都道府県別の罹患率は、大阪府、兵庫県、東京都、大分県、奈良県の順に高くなっており、山形県、長野県、宮城県、秋田県、山梨県の順に低くなっている。中でも大阪府の罹患率は23.5であり、同府においては大阪市の罹患率が最も高く、34.4となっている。

表3．結核の死亡数及び死亡率の年次推移

年 次	死亡順位	死 亡 数	死 亡 率
昭和25年	1位	121,769	146.4
〃 30年	5位	46,735	52.3
〃 35年	7位	31,959	34.2
〃 40年	7位	22,366	22.8
〃 45年	8位	15,899	15.4
〃 50年	10位	10,567	9.5
〃 55年	13位	6,439	5.5
〃 60年	16位	4,692	3.9
平成元年	18位	3,527	2.9
〃 2年	17位	3,664	3.0
〃 3年	20位	3,325	2.7
〃 4年	21位	3,347	2.7
〃 5年	21位	3,249	2.6
〃 6年	23位	3,094	2.5
〃 7年	23位	3,178	2.6
〃 8年	22位	2,858	2.3
〃 9年	22位	2,742	2.2
〃 10年	22位	2,795	2.2
〃 11年	21位	2,935	2.3
〃 12年	24位	2,656	2.1
〃 13年	25位	2,491	2.0
〃 14年	25位	2,317	1.8
〃 15年	25位	2,337	1.9
〃 16年	25位	2,330	1.8
〃 17年	25位	2,296	1.8
〃 18年	26位	2,269	1.8
〃 19年	27位	2,194	1.7
〃 20年	25位	2,220	1.8
〃 21年	24位	2,159	1.7
〃 22年	26位	2,129	1.7
〃 23年	25位	2,166	1.7
〃 24年	26位	2,110	1.7
〃 25年	26位	2,087	1.7
〃 26年	26位	2,100	1.7
〃 27年	29位	1,955	1.6

(注) 死亡率は人口10万対
人口動態統計より。平成27年は概数。

平成27年の結核による死亡数は1,955人（概数）で、前年から145人減少した。死亡率は1.7から1.6に、死因順位は26位から29位になり、いずれも前年より低下している。

表４－１．新登録結核患者数及び罹患率の年次推移

区 分	全結核（新分類）				全結核（旧分類）			
	実数／前年比		罹患率(人口10万対) ／前年比		実数／前年比		罹患率(人口10万対) ／前年比	
平成４年					48,956		39.3	
平成５年					47,437	△1,519	38.0	△1.3
平成６年					44,590	△2,847	35.7	△2.3
平成７年					43,078	△1,512	34.3	△1.4
平成８年					42,472	△ 606	33.7	△0.6
平成９年					42,715	243	33.9	0.2
平成10年	41,033		32.4		44,016	1,301	34.8	0.9
平成11年	43,818	2,785	34.6	2.2				
平成12年	39,384	△4,434	31.0	△3.6				
平成13年	35,489	△3,895	27.9	△3.1				
平成14年	32,828	△2,661	25.8	△2.1				
平成15年	31,638	△1,190	24.8	△1.0				
平成16年	29,736	△1,902	23.3	△1.5				
平成17年	28,319	△1,417	22.2	△1.1				
平成18年	26,384	△1,935	20.6	△1.6				
平成19年	25,311	△1,073	19.8	△0.8				
平成20年	24,760	△551	19.4	△0.4				
平成21年	24,170	△590	19.0	△0.4				
平成22年	23,261	△909	18.2	△0.8				
平成23年	22,681	△580	17.7	△0.5				
平成24年	21,283	△1,398	16.7	△1.0				
平成25年	20,495	△788	16.1	△0.6				
平成26年	19,615	△880	15.4	△0.7				
平成27年	18,280	△1,335	14.4	△1.0				

平成27年に新たに結核患者として登録された者（新登録結核患者）の数は18,280人で、前年から1,335人減少した。減少率は、平成25年から平成26年にかけては4.3%、平成26年から平成27年にかけては6.8%となり、減少幅は2.5ポイント大きくなっている。

平成27年の罹患率（人口10万対）は14.4であり、前年から1.0減少した。減少率は、平成25年から平成26年にかけては4.3%、平成26年から平成27年にかけては6.5%となり、減少幅は2.2ポイント大きくなっている。

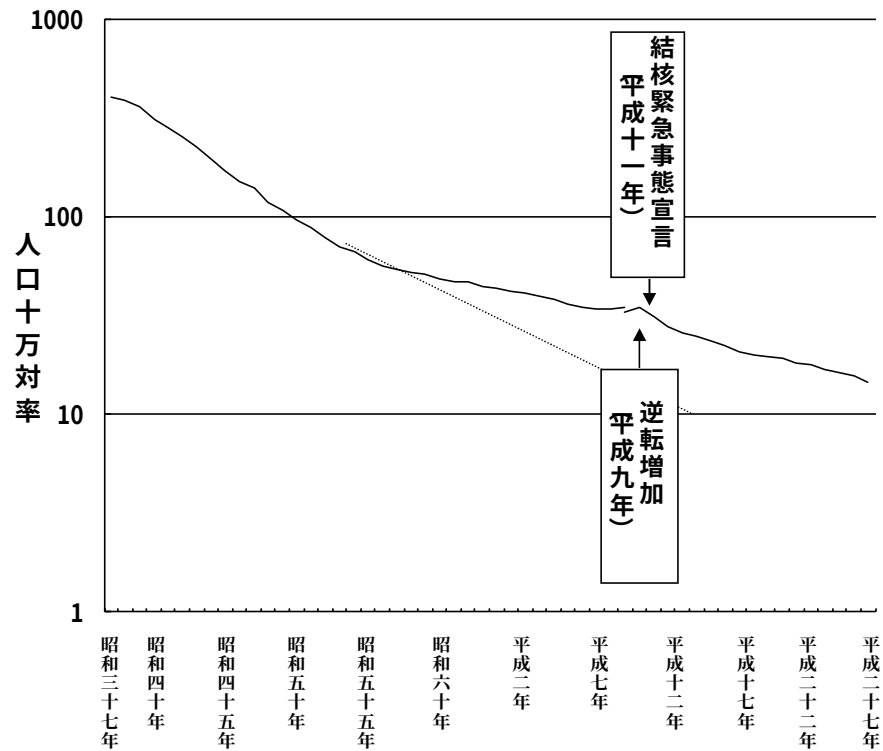
表４－２．新登録結核患者及び罹患率の年次推移（菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数、再掲）

区分	菌喀痰塗抹陽性肺結核（新分類） （再掲）		菌喀痰塗抹陽性患者の割合 （％ / 全結核）	菌塗抹陽性肺結核（旧分類） （再掲）		菌塗抹陽性患者の割合 （％ / 全結核）
	実数/前年比	罹患率 （人口10万対）/前年比		実数/前年比	罹患率 （人口10万対）/前年比	
平成4年				15,540	12.5	31.7
平成5年				15,210 △330	12.2 △0.3	32.1
平成6年				14,777 △433	11.8 △0.4	33.1
平成7年				15,103 326	12.0 0.2	35.1
平成8年				15,035 △ 68	11.9 △0.1	35.4
平成9年				15,967 932	12.7 0.8	37.4
平成10年	13,405	10.6	32.7	16,294 327	12.9 0.2	37.0
平成11年	14,482 1,077	11.4 0.8	33.1			
平成12年	13,220 △1,262	10.4 △1.0	33.6			
平成13年	12,656 △ 564	9.9 △0.5	35.7			
平成14年	11,933 △ 723	9.4 △0.5	36.4			
平成15年	11,857 △ 76	9.3 △0.1	37.5			
平成16年	11,445 △ 412	9.0 △0.3	38.5			
平成17年	11,318 △ 127	8.9 △0.1	40.0			
平成18年	10,492 △ 826	8.2 △0.7	39.8			
平成19年	10,204 △ 288	8.0 △0.2	40.3			
平成20年	9,809 △ 395	7.7 △0.3	39.6			
平成21年	9,675 △ 134	7.6 △0.1	40.0			
平成22年	9,019 △ 656	7.0 △0.6	38.8			
平成23年	8,654 △ 365	6.8 △0.2	38.2			
平成24年	8,237 △ 417	6.5 △0.3	38.7			
平成25年	8,119 △ 118	6.4 △0.1	39.6			
平成26年	7,651 △ 468	6.0 △0.4	39.0			
平成27年	7,131 △ 520	5.6 △0.4	39.0			

菌喀痰塗抹陽性肺結核の患者数は7,131人で、前年から520人減少している。

菌喀痰塗抹陽性肺結核の罹患率（人口10万対）は5.6であり、前年から0.4減少した。菌喀痰塗抹陽性肺結核の患者が全体に占める割合は39.0%であり、前年と同じであった。

図1. 結核罹患率の推移 (全結核)



平成27年の罹患率（人口10万対）は14.4であり、前年から1.0減少した。減少率は、平成25年から平成26年にかけては4.3%、平成26年から平成27年にかけては6.5%となり、減少幅は2.2ポイント大きくなっている。

表5－1．年次別・年齢階級別 新登録結核患者数

() 内は構成比

区 分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
総 数	22,681(100.0)	21,283 (100.0)	20,495 (100.0)	19,615 (100.0)	18,280 (100.0)
0～ 4歳	33(0.1)	30 (0.1)	27 (0.1)	17 (0.1)	29 (0.2)
5～ 9歳	20(0.1)	12 (0.1)	14 (0.1)	15 (0.1)	9 (0.0)
10～14歳	31(0.1)	21 (0.1)	25 (0.1)	17 (0.1)	13 (0.1)
15～19歳	157(0.7)	165 (0.8)	165 (0.8)	168 (0.9)	163 (0.9)
20～29歳	1,417(6.2)	1,288 (6.1)	1,196 (5.8)	1,188 (6.1)	1,127 (6.2)
30～39歳	1,718(7.6)	1,528 (7.2)	1,317 (6.4)	1,235 (6.3)	1,101 (6.0)
40～49歳	1,820(8.0)	1,600 (7.5)	1,496 (7.3)	1,440 (7.3)	1,363 (7.5)
50～59歳	2,049(9.0)	1,795 (8.4)	1,665 (8.1)	1,514 (7.7)	1,351 (7.4)
60～69歳	3,232(14.2)	3,012 (14.2)	2,833 (13.8)	2,597 (13.2)	2,359 (12.9)
70～79歳	4,875(21.5)	4,595 (21.6)	4,359 (21.3)	4,028 (20.5)	3,757 (20.6)
80歳以上	7,329(32.3)	7,237 (34.0)	7,398 (36.1)	7,396 (37.7)	7,008 (38.3)

年齢階級別の新登録結核患者数は0～4歳を除き減少した。年齢階級別では、80歳以上で減少数が最も大きく、388人減少した。全体に占める割合は、80歳以上が38.3%となっている。

表5－2．年次別・年齢階級別 菌喀痰塗抹陽性肺結核新登録患者数

() 内は構成比

区 分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
総 数	8,654(100.0)	8,237 (100.0)	8,119 (100.0)	7,651 (100.0)	7,131 (100.0)
0～ 4歳	0(0.0)	1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.0)
5～ 9歳	0(0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
10～14歳	5(0.1)	4 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)
15～19歳	45(0.5)	40 (0.5)	49 (0.6)	36 (0.5)	41 (0.6)
20～29歳	360(4.2)	337 (4.1)	357 (4.4)	329 (4.3)	292 (4.1)
30～39歳	520(6.0)	448 (5.4)	412 (5.1)	341 (4.5)	348 (4.9)
40～49歳	625(7.2)	555 (6.7)	523 (6.4)	480 (6.3)	454 (6.4)
50～59歳	819(9.5)	680 (8.3)	663 (8.2)	597 (7.8)	535 (7.5)
60～69歳	1,241(14.3)	1,161 (14.1)	1,119 (13.8)	1,010 (13.2)	935 (13.1)
70～79歳	1,817(21.0)	1,801 (21.9)	1,682 (20.7)	1,578 (20.6)	1,408 (19.7)
80歳以上	3,222(37.2)	3,210 (39.0)	3,314 (40.8)	3,279 (42.9)	3,116 (43.7)

年齢階級別の菌喀痰塗抹陽性肺結核新登録患者数は、0～4歳、15～19歳及び30～39歳で10人未満の微増となっているが、他の年齢階級では減少した。減少幅は、70～79歳が最も大きく170人減少した。全体に占める割合は、80歳以上が43.7%と最も大きくなっている。

表5-3. 年次別・年齢階級別 新登録小児結核中の粟粒結核および結核性髄膜炎患者数

区 分	平成 23年		平成 24年		平成 25年		平成 26年		平成 27年	
	粟粒結核	結核性髄膜炎	粟粒結核	結核性髄膜炎	粟粒結核	結核性髄膜炎	粟粒結核	結核性髄膜炎	粟粒結核	結核性髄膜炎
合計	2	1	0	1	0	2	2	5	1	1
0～4歳	1	0	0	1	0	2	1	2	0	1
5～9歳	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
10～14歳	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0

合計は小児結核(0～14歳)の合計、粟粒結核と結核性髄膜炎の重複あり

平成26年患者の詳細

粟粒結核、結核性髄膜炎併発 0歳、日本出生1名、BCG接種歴無し。

粟粒結核 14歳、外国出生1名、BCG接種歴不明。

結核性髄膜炎 0歳、日本出生1名、BCG接種歴あり。

結核性髄膜炎 5歳、日本出生1名、BCG接種歴不明。

結核性髄膜炎 9歳、日本出生1名、BCG接種歴あり。

結核性髄膜炎 9歳、外国出生1名、BCG接種歴あり。

平成23年の12歳:粟粒結核、結核性髄膜炎併発

平成27年に新たに登録された小児結核患者のうち、重症例と考えられる粟粒結核及び結核性髄膜炎患者数はそれぞれ1人となり、前年から減少している。

表5-4. 年次別・年齢階級別 潜在性結核感染症(LTBI)新登録者数

(() 内は構成比)

区 分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
総 数	10,046(100.0)	8,771 (100.0)	7,147 (100.0)	7,562 (100.0)	6,675 (100.0)
0～4歳	542(5.4)	499 (5.7)	493 (6.9)	514 (6.8)	420 (6.3)
5～9歳	182(1.8)	219 (2.5)	163 (2.3)	140 (1.9)	131 (2.0)
10～14歳	233(2.3)	177 (2.0)	202 (2.8)	86 (1.1)	110 (1.6)
15～19歳	327(3.3)	276 (3.1)	188 (2.6)	173 (2.3)	124 (1.9)
20～29歳	1,944(19.4)	1,632 (18.6)	1,047 (14.6)	1,017 (13.4)	746 (11.2)
30～39歳	2,236(22.3)	1,769 (20.2)	1,202 (16.8)	1,162 (15.4)	933 (14.0)
40～49歳	1,912(19.0)	1,681 (19.2)	1,286 (18.0)	1,347 (17.8)	1,042 (15.6)
50～59歳	1,456(14.5)	1,322 (15.1)	1,173 (16.4)	1,212 (16.0)	1,063 (15.9)
60～69歳	846(8.4)	805 (9.2)	819 (11.5)	1,050 (13.9)	1,020 (15.3)
70～79歳	241(2.4)	272 (3.1)	413 (5.8)	600 (7.9)	709 (10.6)
80歳以上	127(1.3)	119 (1.4)	161 (2.3)	261 (3.5)	377 (5.6)

平成27年に新たに登録された潜在性結核感染症の者の数は、6,675人で、前年から887人減少した。年齢階級別では、40～49歳で最も大きく、305人の減少となっている。一方、70～79歳、80歳以上の年齢階級では、100人以上の増加となっている。

表５－５．年次別・年齢階級別 新登録結核患者数に対する潜在性結核感染症（LTBI）
新登録者数の比

（比：潜在性結核感染症新登録者数／新登録結核患者数）

区 分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
総 数	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4
0～ 4歳	16.4	16.6	18.3	30.2	14.5
5～ 9歳	9.1	18.3	11.6	9.3	14.6
10～14歳	7.5	8.4	8.1	5.1	8.5
15～19歳	2.1	1.7	1.1	1.0	0.8
20～29歳	1.4	1.3	0.9	0.9	0.7
30～39歳	1.3	1.2	0.9	0.9	0.8
40～49歳	1.1	1.1	0.9	0.9	0.8
50～59歳	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8
60～69歳	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4
70～79歳	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2
80歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1

新登録結核患者数に対する潜在性結核感染症新登録者数の比は、14歳以下の年齢階級で1以上となっており、潜在性結核感染症新登録者数の方が多くなっている。一方、15歳以上の年齢階級では、1未満となっており、新登録結核患者数の方が多くなっている。

表５－６．年次別・職業別 潜在性結核感染症（LTBI）新登録者数

（（ ）内は構成比）

区 分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成27年/26年
総 数	10,046 (100.0)	8,771 (100.0)	7,147 (100.0)	7,562 (100.0)	6,675 (100.0)	0.9
看護師・保健師	2,345 (23.3)	2,036 (23.2)	1,277 (17.9)	1,164 (15.4)	896 (13.4)	0.8
医師	425 (4.2)	370 (4.2)	222 (3.1)	183 (2.4)	137 (2.1)	0.7
その他医療職・介護職	910 (9.1)	992 (11.3)	820 (11.5)	858 (11.3)	752 (11.3)	0.9
接客業等	306 (3.0)	238 (2.7)	228 (3.2)	214 (2.8)	218 (3.3)	1.0
教員・保育士	102 (1.0)	75 (0.9)	73 (1.0)	82 (1.1)	64 (1.0)	0.8
上記以外の常用勤労者	2,322 (23.1)	1,781 (20.3)	1,404 (19.6)	1,603 (21.2)	1,210 (18.1)	0.8
上記以外の臨時雇、日雇	345 (3.4)	309 (3.5)	253 (3.5)	253 (3.3)	223 (3.3)	0.9
上記以外の自営業・自由業	230 (2.3)	183 (2.1)	186 (2.6)	208 (2.8)	214 (3.2)	1.0
家事従事者	261 (2.6)	201 (2.3)	161 (2.3)	170 (2.2)	145 (2.2)	0.9
無職・その他	1,206 (12.0)	1,116 (12.7)	1,212 (17.0)	1,577 (20.9)	1,681 (25.2)	1.1
乳幼児	570 (5.7)	395 (4.5)	380 (5.3)	382 (5.1)	332 (5.0)	0.9
保育園、幼稚園児・小中学生	414 (4.1)	488 (5.6)	445 (6.2)	325 (4.3)	314 (4.7)	1.0
高校生以上の生徒学生等	464 (4.6)	440 (5.0)	332 (4.6)	418 (5.5)	287 (4.3)	0.7
不明	146 (1.5)	147 (1.7)	154 (2.2)	125 (1.7)	202 (3.0)	1.6

職業別では、全体の潜在性結核感染症新登録者数に占める医療職の割合は、前年の29.1%から26.7%に減少した。常勤職（医療職、接客業、教員・保育士を除く）の割合についても、前年の21.2%から18.1%に減少した。一方、無職・その他が全体に占める割合は、前年の20.9%から25.2%に増加している。

表5-7. 年次別・年齢階級別 外国生まれ新登録結核患者数

() 内は新登録に占める割合

区 分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
総 数	921(4.1)	1,069 (5.0)	1,064 (5.2)	1,101 (5.6)	1,164 (6.4)
0～ 4歳	3(9.1)	2 (6.7)	1 (3.7)	3 (17.6)	3 (10.3)
5～ 9歳	2(10.0)	2 (16.7)	2 (14.3)	2 (13.3)	0 (0.0)
10～14歳	3(9.7)	3 (14.3)	4 (16.0)	3 (17.6)	6 (46.2)
15～19歳	27(17.2)	42 (25.5)	48 (29.1)	56 (33.3)	57 (35.0)
20～29歳	419(29.6)	468 (36.3)	494 (41.3)	511 (43.0)	565 (50.1)
30～39歳	226(13.2)	237 (15.5)	225 (17.1)	243 (19.7)	252 (22.9)
40～49歳	126(6.9)	181 (11.3)	147 (9.8)	151 (10.5)	134 (9.8)
50～59歳	53(2.6)	63 (3.5)	65 (3.9)	71 (4.7)	74 (5.5)
60～69歳	20(0.6)	33 (1.1)	30 (1.1)	26 (1.0)	27 (1.1)
70～79歳	19(0.4)	17 (0.4)	25 (0.6)	16 (0.4)	19 (0.5)
80歳以上	23(0.3)	21 (0.3)	23 (0.3)	19 (0.3)	27 (0.4)

(注)平成23年までは外国籍新登録結核患者数

平成27年の外国生まれ新登録結核患者数は1,164人であり、前年から63人増加した。年齢階級別では、20～29歳で新登録結核患者における外国生まれの者の割合が50.1%となっている。

表5-8. 年次別・年齢階級別 外国生まれ新登録結核患者数（入国5年以内、再掲）

() 内は全外国生まれ新登録患者に占める割合

区 分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
総 数	513(55.7)	400 (37.4)	432 (40.6)	437 (39.7)	505 (43.4)
0～ 4歳	3(100.0)	1 (50.0)	1 (100.0)	1 (33.3)	2 (66.7)
5～ 9歳	2(100.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	2 (100.0)	0 (-)
10～14歳	3(100.0)	3 (100.0)	4 (100.0)	1 (33.3)	3 (50.0)
15～19歳	21(77.8)	27 (64.3)	28 (58.3)	37 (66.1)	33 (57.9)
20～29歳	338(80.7)	271 (57.9)	303 (61.3)	301 (58.9)	351 (62.1)
30～39歳	103(45.6)	64 (27.0)	62 (27.6)	60 (24.7)	79 (31.3)
40～49歳	26(20.6)	18 (9.9)	15 (10.2)	20 (13.2)	17 (12.7)
50～59歳	9(17.0)	8 (12.7)	3 (4.6)	6 (8.5)	11 (14.9)
60～69歳	2(10.0)	5 (15.2)	8 (26.7)	8 (30.8)	1 (3.7)
70～79歳	5(26.3)	3 (17.6)	4 (16.0)	1 (6.3)	6 (31.6)
80歳以上	1(4.3)	0 (0.0)	2 (8.7)	0 (0.0)	2 (7.4)

(注)平成23年は外国籍新登録結核患者数

外国生まれ新登録結核患者のうち、入国5年以内の者は505人であり、前年から68人増加した。特に20～29歳の年齢階級では、前年から50人増加し、351人となっている。

表 6－1．年次別・年齢階級別 結核罹患率

(人口10万対)

区 分	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
総 数	17.7	16.7	16.1	15.4	14.4
0～ 4歳	0.6	0.6	0.5	0.3	0.6
5～ 9歳	0.4	0.2	0.3	0.3	0.2
10～14歳	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2
15～19歳	2.6	2.7	2.7	2.8	2.8
20～29歳	10.4	9.7	9.1	9.2	9.0
30～39歳	9.6	8.9	7.9	7.7	7.1
40～49歳	10.5	9.1	8.3	7.8	7.5
50～59歳	12.8	11.5	10.8	9.8	8.8
60～69歳	17.5	16.3	15.4	14.3	13.1
70～79歳	36.6	33.7	31.4	28.4	26.9
80歳以上	85.6	81.0	79.5	76.7	70.8

年齢階級別の結核罹患率は、高齢層ほど高くなっており、70～79歳では26.9、80歳以上では70.8となっている。

表 6－2．年次別・年齢階級別 結核罹患率（菌喀痰塗抹陽性肺結核患者、再掲）

区 分	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
総 数	6.8	6.5	6.4	6.0	5.6
0～ 4歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5～ 9歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10～14歳	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
15～19歳	0.7	0.7	0.8	0.6	0.7
20～29歳	2.6	2.5	2.7	2.6	2.3
30～39歳	2.9	2.6	2.5	2.1	2.3
40～49歳	3.6	3.1	2.9	2.6	2.5
50～59歳	5.1	4.4	4.3	3.9	3.5
60～69歳	6.7	6.3	6.1	5.6	5.2
70～79歳	13.6	13.2	12.1	11.1	10.1
80歳以上	37.6	35.9	35.6	34.0	31.5

菌喀痰塗抹陽性肺結核の罹患率は、高齢層ほど高くなっており、70～79歳では10.1、80歳以上では31.5となっている。

表7-1. 新登録結核患者数 都道府県別・年次推移

都道府県名	新登録結核患者数（人）					備考	（再掲）菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数（人）				
	23年	24年	25年	26年	27年		23年	24年	25年	26年	27年
全 国	22,681	21,283	20,495	19,615	18,280		8,654	8,237	8,119	7,651	7,131
北海道	623	586	553	568	533		225	245	207	228	216
青 森	198	183	176	185	182		96	85	91	76	81
岩 手	117	166	149	158	136		44	61	64	61	54
宮 城	228	231	223	209	198	○3	75	96	90	89	75
秋 田	127	137	108	98	87	○4	46	57	49	38	29
山 形	131	115	131	119	82	○1	48	34	53	61	27
福 島	228	194	228	185	188	↑	77	73	109	81	83
茨 城	431	401	382	387	345		154	154	139	133	109
栃 木	260	266	231	252	229		101	106	86	101	89
群 馬	224	232	228	204	192		97	97	82	85	63
埼 玉	1,161	1,100	1,050	1,018	955		455	455	409	417	347
千 葉	1,028	888	921	876	878	↑	378	319	335	331	315
東 京	3,022	2,874	2,671	2,533	2,306	△3	1,090	1,076	1,006	927	877
神奈川	1,561	1,395	1,353	1,329	1,311		594	528	527	496	462
新 潟	268	272	269	214	232	↑	96	97	98	74	100
富 山	158	140	152	131	125		49	49	57	51	45
石 川	190	161	152	149	149		76	65	57	50	65
福 井	124	99	109	108	72		40	40	20	35	18
山 梨	97	100	65	77	73	○5	41	51	21	33	28
長 野	217	203	194	170	175	↑○2	92	92	73	74	82
岐 阜	434	380	376	342	314		154	152	145	123	128
静 岡	579	543	560	510	442		228	187	226	200	173
愛 知	1,526	1,419	1,424	1,305	1,199		589	557	598	521	458
三 重	280	252	239	237	244	↑	99	90	98	76	92
滋 賀	244	170	182	166	157		94	58	74	62	68
京 都	489	474	456	498	376		193	183	192	191	149
大 阪	2,484	2,400	2,336	2,168	2,074	△1	1,077	1,030	1,019	897	901
兵 庫	1,140	1,096	1,098	1,036	945	△2	450	436	456	416	388
奈 良	261	285	244	230	230	△5	94	96	93	104	90
和歌山	234	185	202	190	150		72	74	76	80	55
鳥 取	78	80	76	87	90	↑	28	24	23	32	34
島 根	139	128	110	95	102	↑	49	49	44	28	38
岡 山	311	283	232	254	235		114	99	83	96	99
広 島	434	411	383	386	324		162	175	168	143	139
山 口	260	260	227	163	187	↑	104	98	89	68	66
徳 島	184	164	131	124	106		83	52	36	56	39
香 川	139	166	177	171	144		44	62	66	67	51
愛 媛	218	189	171	188	167		88	77	64	69	63
高 知	146	98	109	112	108		61	46	56	49	36
福 岡	938	849	816	774	773		368	293	300	291	279
佐 賀	168	143	149	127	135	↑	55	62	64	53	65
長 崎	297	286	278	307	217		89	103	106	99	78
熊 本	329	289	277	281	282	↑	118	110	104	100	104
大 分	223	207	228	203	199	△4	96	88	106	86	100
宮 崎	179	170	157	169	161		73	70	81	89	87
鹿児島	305	314	261	281	257		110	93	96	117	99
沖 縄	269	299	251	241	214		88	93	83	97	87
指定都市（再掲）											
札 幌	195	180	188	190	183		75	66	63	64	67
仙 台	118	111	101	102	93		40	48	44	42	34
さいたま	226	198	190	188	168		101	86	67	89	65
千 葉	171	150	149	154	157	↑	55	64	56	52	63
横 浜	663	611	554	578	565		262	244	209	203	210
川 崎	308	264	270	229	226		116	89	109	93	64
相模原	130	97	109	96	79		45	35	37	33	25
新 潟	72	88	81	78	86	↑	22	41	37	26	38
静 岡	113	96	112	127	107		46	34	43	54	41
浜 松	152	129	142	122	78		47	38	52	48	34
名古屋	637	575	601	528	514		223	209	251	211	197
京 都	299	282	286	321	239		121	106	128	125	90
大 阪	1,109	1,142	1,058	988	925		497	512	488	456	412
堺	205	235	222	181	185	↑	89	105	93	82	96
神 戸	380	376	369	330	328		136	132	148	125	118
岡 山	97	92	72	92	81		38	28	27	33	36
広 島	149	162	136	135	116		57	69	67	59	55
北九州	230	194	193	183	182		82	59	71	76	66
福 岡	220	231	226	218	222	↑	89	87	90	75	80
熊 本		115	96	98	125	↑		39	40	35	37
東京都特別区	2,295	2,177	2,034	1,937	1,761		803	829	791	719	658

（注）備考欄において「↑」は27年の新登録数が26年を上回ったもの、「○1」は罹患率下位1位を、「△1」は罹患率上位1位を表す。

都道府県別の新登録結核患者数は、47都道府県のうち10の県で増加した。
新登録結核患者数が最も多いのは東京都の2,306人、次いで大阪府の2,074人
となっている。

表7-2. 結核罹患率 都道府県別・年次推移

都道府県名	罹患率（人口10万対）					備考	（再掲）菌喀痰塗抹陽性肺結核罹患率（人口10万対）				
	23年	24年	25年	26年	27年		23年	24年	25年	26年	27年
全 国	17.7	16.7	16.1	15.4	14.4		6.8	6.5	6.4	6.0	5.6
北海道	11.4	10.7	10.2	10.5	9.9		4.1	4.5	3.8	4.2	4.0
青 森	14.5	13.6	13.2	14.0	13.9		7.0	6.3	6.8	5.8	6.2
岩 手	8.9	12.7	11.5	12.3	10.6		3.3	4.7	4.9	4.7	4.2
宮 城	9.8	9.9	9.6	9.0	8.5	○3	3.2	4.1	3.9	3.8	3.2
秋 田	11.8	12.9	10.3	9.5	8.5	○4	4.3	5.4	4.7	3.7	2.8
山 形	11.3	10.0	11.5	10.5	7.3	○1	4.1	3.0	4.6	5.4	2.4
福 島	11.5	9.9	11.7	9.6	9.8	↑	3.9	3.7	5.6	4.2	4.3
茨 城	14.6	13.6	13.0	13.3	11.8		5.2	5.2	4.7	4.6	3.7
栃 木	13.0	13.4	11.6	12.7	11.6		5.0	5.3	4.3	5.1	4.5
群 馬	11.2	11.6	11.5	10.3	9.7		4.8	4.9	4.1	4.3	3.2
埼 玉	16.1	15.3	14.5	14.1	13.2		6.3	6.3	5.7	5.8	4.8
千 葉	16.5	14.3	14.9	14.1	14.1		6.1	5.1	5.4	5.3	5.1
東 京	22.9	21.7	20.1	18.9	17.1	△3	8.3	8.1	7.6	6.9	6.5
神奈川	17.2	15.4	14.9	14.6	14.4		6.6	5.8	5.8	5.5	5.1
新 潟	11.3	11.6	11.5	9.3	10.1	↑	4.1	4.1	4.2	3.2	4.3
富 山	14.5	12.9	14.1	12.2	11.7		4.5	4.5	5.3	4.8	4.2
石 川	16.3	13.8	13.1	12.9	12.9		6.5	5.6	4.9	4.3	5.6
福 井	15.4	12.4	13.7	13.7	9.1		5.0	5.0	2.5	4.4	2.3
山 梨	11.3	11.7	7.7	9.2	8.7	○5	4.8	6.0	2.5	3.9	3.4
長 野	10.1	9.5	9.1	8.1	8.3	↑○2	4.3	4.3	3.4	3.5	3.9
岐 阜	21.0	18.4	18.3	16.8	15.4		7.4	7.4	7.1	6.0	6.3
静 岡	15.4	14.5	15.0	13.8	11.9		6.1	5.0	6.1	5.4	4.7
愛 知	20.6	19.1	19.1	17.5	16.0		7.9	7.5	8.0	7.0	6.1
三 重	15.2	13.7	13.0	13.0	13.4	↑	5.4	4.9	5.3	4.2	5.1
滋 賀	17.3	12.0	12.9	11.7	11.1		6.7	4.1	5.2	4.4	4.8
京 都	18.6	18.1	17.4	19.1	14.4		7.3	7.0	7.3	7.3	5.7
大 阪	28.0	27.1	26.4	24.5	23.5	△1	12.2	11.6	11.5	10.2	10.2
兵 庫	20.4	19.7	19.8	18.7	17.1	△2	8.1	7.8	8.2	7.5	7.0
奈 良	18.7	20.5	17.6	16.7	16.8	↑△5	6.7	6.9	6.7	7.6	6.6
和歌山	23.5	18.7	20.6	19.6	15.6		7.2	7.5	7.8	8.2	5.7
鳥 取	13.3	13.8	13.2	15.2	15.7	↑	4.8	4.1	4.0	5.6	5.9
島 根	19.5	18.1	15.7	13.6	14.7	↑	6.9	6.9	6.3	4.0	5.5
岡 山	16.0	14.6	12.0	13.2	12.2		5.9	5.1	4.3	5.0	5.2
広 島	15.2	14.4	13.5	13.6	11.4		5.7	6.1	5.9	5.0	4.9
山 口	18.0	18.2	16.0	11.6	13.3	↑	7.2	6.9	6.3	4.8	4.7
徳 島	23.6	21.1	17.0	16.2	14.0		10.6	6.7	4.7	7.3	5.2
香 川	14.0	16.8	18.0	17.4	14.7		4.4	6.3	6.7	6.8	5.2
愛 媛	15.3	13.4	12.2	13.5	12.1		6.2	5.4	4.6	4.9	4.5
高 知	19.2	13.0	14.6	15.2	14.8		8.0	6.1	7.5	6.6	4.9
福 岡	18.5	16.7	16.0	15.2	15.1		7.2	5.8	5.9	5.7	5.5
佐 賀	19.8	17.0	17.7	15.2	16.2	↑	6.5	7.4	7.6	6.3	7.8
長 崎	21.0	20.3	19.9	22.1	15.7		6.3	7.3	7.6	7.1	5.7
熊 本	18.2	16.0	15.4	15.7	15.8	↑	6.5	6.1	5.8	5.6	5.8
大 分	18.7	17.5	19.3	17.3	17.1	△4	8.1	7.4	9.0	7.3	8.6
宮 崎	15.8	15.1	14.0	15.2	14.6		6.5	6.2	7.2	8.0	7.9
鹿 児 島	18.0	18.6	15.5	16.8	15.6		6.5	5.5	5.7	7.0	6.0
沖 縄	19.2	21.2	17.7	17.0	14.9		6.3	6.6	5.9	6.8	6.1
指定都市（再掲）											
札 幌	10.2	9.3	9.7	9.8	9.4		3.9	3.4	3.3	3.3	3.4
仙 台	11.2	10.5	9.5	9.5	8.6		3.8	4.5	4.1	3.9	3.1
さいたま	18.3	15.9	15.2	14.9	13.2		8.2	6.9	5.4	7.1	5.1
千 葉	17.8	15.6	15.5	15.9	16.1	↑	5.7	6.6	5.8	5.4	6.5
横 浜	18.0	16.5	15.0	15.6	15.2		7.1	6.6	5.6	5.5	5.6
川 崎	21.5	18.3	18.6	15.7	15.3		8.1	6.2	7.5	6.4	4.3
相模原	18.1	13.5	15.1	13.3	11.0		6.3	4.9	5.1	4.6	3.5
新 潟	8.9	10.8	10.0	9.7	10.6	↑	2.7	5.1	4.6	3.2	4.7
静 岡	15.8	13.5	15.8	18.0	15.2		6.4	4.8	6.1	7.6	5.8
浜 松	19.0	15.8	17.9	15.4	9.8		5.9	4.7	6.6	6.1	4.3
名古屋	28.1	25.4	26.5	23.2	22.4		9.8	9.2	11.1	9.3	8.6
京 都	20.3	19.2	19.4	21.8	16.2		8.2	7.2	8.7	8.5	6.1
大 阪	41.5	42.7	39.4	36.8	34.4		18.6	19.1	18.2	17.0	15.3
堺	24.3	27.9	26.4	21.5	22.0	↑	10.6	12.5	11.1	9.8	11.4
神 戸	24.6	24.4	24.0	21.5	21.3		8.8	8.6	9.6	8.1	7.7
岡 山	13.6	12.9	10.1	12.9	11.4		5.3	3.9	3.8	4.6	5.1
広 島	12.7	13.7	11.5	11.4	9.7		4.8	5.8	5.7	5.0	4.6
北九州	23.6	20.0	19.9	19.0	18.9		8.4	6.1	7.3	7.9	6.9
福 岡	14.9	15.5	15.0	14.3	14.4	↑	6.0	5.8	6.0	4.9	5.2
熊 本		15.6	13.0	13.2	16.9	↑		5.3	5.4	4.7	5.0
東京都特別区	25.6	24.3	22.5	21.2	19.1		9.0	9.3	8.7	7.9	7.1

注）備考欄において「↑」は27年の罹患率が26年を上回ったもの、「○1」は罹患率下位1位を、「△1」は罹患率上位1位を表す。

都道府県別の結核罹患率は、47都道府県のうち10の県で増加した。また、罹患率が10を下回った都道府県は、前年の6県から9道県に増加した。罹患率が最も低いのは山形県であり、7.3となっている。

表 8 . 年末時結核登録者数及び有病率の年次推移

区 分	総数／前年比	活 動 性 全 結 核	
		患者数／前年比	有病率(人口10万対) /前年比
平成 6年	181,470 △10,114	70,781 △5,894	56.6 △4.9
平成 7年	168,581 △12,889	65,167 △5,614	51.9 △4.7
平成 8年	132,958 △35,623	59,760 △5,407	47.5 △4.4
平成 9年	121,762 △11,196	55,409 △4,351	43.9 △3.6
平成10年	107,058	49,205	38.9
平成11年	104,813 △2,245	48,888 △317	38.6 △0.3
平成12年	99,481 △5,332	41,971 △6,917	33.1 △5.5
平成13年	91,395 △8,086	36,288 △5,683	28.5 △4.6
平成14年	82,974 △8,421	32,396 △3,892	25.4 △3.1
平成15年	77,211 △5,763	29,717 △2,679	23.3 △2.1
平成16年	72,079 △5,132	26,945 △2,772	21.1 △2.2
平成17年	68,508 △3,571	23,969 △2,976	18.8 △2.3
平成18年	65,695 △2,813	21,976 △1,993	17.2 △1.6
平成19年	63,556 △2,139	20,637 △1,339	16.2 △1.0
平成20年	62,244 △1,312	20,021 △ 616	15.7 △0.5
平成21年	59,573 △2,671	18,915 △1,106	14.8 △0.9
平成22年	55,573 △4,000	17,927 △988	14.0 △0.8
平成23年	55,196 △377	17,264 △663	13.5 △0.5
平成24年	52,173 △3,023	14,858 △2,406	11.7 △1.8
平成25年	49,814 △2,359	13,957 △901	11.0 △0.7
平成26年	47,845 △1,969	13,513 △444	10.6 △0.4
平成27年	44,888 △2,957	12,534 △979	9.9 △0.7

平成10年以降は新分類

平成27年末現在の結核登録者数は44,888人であり、前年の47,845人から2,957人減少した。そのうち、活動性全結核の患者数は12,534人で、前年より979人減少した。また、平成27年末の結核有病率は前年の10.6から0.7減少し、9.9となっている。

表9. 年次別 前回治療開始年代別再治療者数（割合）

前回治療開始年	2011年登録者	2012年登録者	2013年登録者	2014年登録者	2015年登録者
総 数	1,687 (100%)	1,335 (100%)	1,262 (100%)	1,179 (100%)	1,032 (100%)
1940年代以前	129 (7.6)	97 (7.3)	106 (8.4)	101 (8.6)	63 (6.1)
1950 年代	220 (13.0)	190 (14.2)	177 (14.0)	136 (11.5)	154 (14.9)
1960 年代	106 (6.3)	99 (7.4)	76 (6.0)	82 (7.0)	74 (7.2)
1970 年代	50 (3.0)	52 (3.9)	56 (4.4)	46 (3.9)	30 (2.9)
1980 年代	61 (3.6)	54 (4.0)	38 (3.0)	39 (3.3)	23 (2.2)
1990 年代	109 (6.5)	92 (6.9)	66 (5.2)	71 (6.0)	66 (6.4)
2000 年代以降	766 (45.4)	749 (56.1)	743 (58.9)	704 (59.7)	622 (60.3)
不 明	246 (14.6)	2 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
(再掲) 2000年代の再治療者数					
2000 年	19 (1.1)	11 (1.5)	11 (1.5)	10 (1.4)	11 (1.8)
2001 年	26 (1.5)	19 (2.5)	8 (1.1)	13 (1.8)	9 (1.4)
2002 年	20 (1.2)	26 (3.5)	20 (2.7)	13 (1.8)	18 (2.9)
2003 年	24 (1.4)	21 (2.8)	22 (3.0)	22 (3.1)	15 (2.4)
2004 年	33 (2.0)	34 (4.5)	20 (2.7)	28 (4.0)	12 (1.9)
2005 年	48 (2.8)	29 (3.9)	32 (4.3)	23 (3.3)	9 (1.4)
2006 年	47 (2.8)	47 (6.3)	34 (4.6)	26 (3.7)	16 (2.6)
2007 年	70 (4.1)	47 (6.3)	30 (4.0)	19 (2.7)	17 (2.7)
2008 年	84 (5.0)	82 (10.9)	48 (6.5)	39 (5.5)	37 (5.9)
2009 年	162 (9.6)	91 (12.1)	52 (7.0)	43 (6.1)	25 (4.0)
2010 年	180 (10.7)	138 (18.4)	90 (12.1)	56 (8.0)	43 (6.9)
2011 年	53 (3.1)	167 (22.3)	152 (20.5)	88 (12.5)	37 (5.9)
2012 年	-	37 (4.9)	171 (23.0)	136 (19.3)	73 (11.7)
2013 年	-	-	53 (7.1)	158 (22.4)	119 (19.1)
2014 年	-	-	-	30 (4.3)	141 (22.7)
2015 年	-	-	-	-	40 (6.4)

(注) 前回治療開始年は、登録情報あるいは本人・家族等への問診による
対象は 2011～2015年新登録者で治療歴が再治療の患者。前回治療
年が今回の登録年に近い者には、「登録中の再登録」による者が
多いと推察される。

平成27年の新登録結核患者のうち再治療患者は1,032人となっている。このうち、前回治療年が2000年以降の者は622人であり、再治療患者のうちの60.3%となっている。

表10－１．発病から初診までの期間が2か月以上の割合
有症状肺結核

	発病～初診までの期間が 2か月以上の割合(%)
平成14年	19.3
平成15年	18.8
平成16年	18.8
平成17年	18.2
平成18年	19.4
平成19年	18.0
平成20年	18.2
平成21年	17.9
平成22年	18.3
平成23年	18.6
平成24年	18.7
平成25年	18.1
平成26年	18.8
平成27年	20.0

(再掲) 30-59歳有症状菌喀痰塗抹陽性肺結核

	発病～初診までの期間が 2か月以上の割合(%)
平成14年	34.2
平成15年	32.3
平成16年	31.6
平成17年	31.4
平成18年	33.2
平成19年	32.1
平成20年	32.3
平成21年	30.7
平成22年	32.6
平成23年	32.9
平成24年	33.7
平成25年	31.5
平成26年	38.0
平成27年	37.1

平成27年の新登録肺結核患者のうち有症状の者を対象として、受診が遅れる（症状発現から受診までの期間が2か月以上の割合）患者の割合は20.0%となっている。このうち30～59歳の有症状菌喀痰塗抹陽性肺結核患者に限定すると、受診が遅れる患者の割合は37.1%となっている。

表10－２．初診から診断（登録）までの期間が1か月以上の割合
有症状肺結核

	初診～診断までの期間が 1か月以上の割合(%)
平成14年	27.2
平成15年	26.0
平成16年	25.0
平成17年	25.7
平成18年	24.3
平成19年	21.7
平成20年	19.9
平成21年	20.4
平成22年	22.6
平成23年	22.7
平成24年	22.0
平成25年	22.1
平成26年	21.6
平成27年	21.5

(再掲) 30-59歳有症状菌喀痰塗抹陽性肺結核

	初診～診断までの期間が 1か月以上の割合(%)
平成14年	15.1
平成15年	14.6
平成16年	14.1
平成17年	14.6
平成18年	13.9
平成19年	13.2
平成20年	10.6
平成21年	10.9
平成22年	13.6
平成23年	14.8
平成24年	15.0
平成25年	13.9
平成26年	13.7
平成27年	13.6

平成14年～18年までは初診から登録までの期間、平成19年以降は初診から診断までの期間

診断が遅れる（受診から結核の診断までの期間が1か月以上）患者の割合は21.5%となっている。

表10－３．発病から診断（登録）までの期間が３か月以上の割合

有症状肺結核

	発病～診断までの期間が ３か月以上の割合（％）
平成14年	21.5
平成15年	21.0
平成16年	20.3
平成17年	19.7
平成18年	20.7
平成19年	18.5
平成20年	18.1
平成21年	18.2
平成22年	19.6
平成23年	19.4
平成24年	19.6
平成25年	18.7
平成26年	19.0
平成27年	20.4

（再掲）30-59歳有症状菌喀痰塗抹陽性肺結核

	発病～診断までの期間が ３か月以上の割合（％）
平成14年	30.3
平成15年	29.3
平成16年	28.2
平成17年	28.7
平成18年	29.5
平成19年	26.9
平成20年	27.0
平成21年	26.9
平成22年	28.4
平成23年	29.8
平成24年	30.5
平成25年	29.0
平成26年	32.9
平成27年	35.5

平成14年～18年までは発病から登録までの期間、平成19年以降は発病から診断までの期間

発見が遅れる（症状発現から結核の診断までの期間が３か月以上）患者の割合は20.4%となっている。

表11. 年次別 新登録肺結核培養陽性結核患者の薬剤感受性検査結果

(() 内は構成比)

区 分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
新 登 録 肺 結 核 患 者 数	17,519	16,432	15,972	15,149	14,123
培養陽性患者数	10,915 (100.0)	11,261 (100.0)	10,523 (100.0)	10,259 (100.0)	10,035 (100.0)
INH,RFP両剤耐性	60 (0.5)	60 (0.5)	47 (0.4)	56 (0.5)	48 (0.5)
(再掲) INH,RFP両剤耐性のうち外国出生患者*	12	14	15	19	16
上記以外でINH耐性含む	326 (3.0)	326 (2.9)	322 (3.1)	293 (2.9)	324 (3.2)
上記以外でRFP耐性含む	26 (0.2)	13 (0.1)	17 (0.2)	20 (0.2)	29 (0.3)
その他耐性	586 (5.4)	420 (3.7)	371 (3.5)	380 (3.7)	366 (3.6)
HRSEすべてに感受性	7,048 (64.6)	7,546 (67.0)	6,890 (65.5)	6,844 (66.7)	6,806 (67.8)
HR感受性その他不明			54 (0.5)	52 (0.5)	57 (0.6)
未実施・他・不明	2,869 (26.3)	2,896 (25.7)	2,822 (26.8)	2,614 (25.5)	2,405 (24.0)
(再掲) 薬剤感受性検査結果判明者					
培養陽性患者数	8,046 (100.0)	8,365 (100.0)	7,701 (100.0)	7,645 (100.0)	7,630 (100.0)
INH,RFP両剤耐性	60 (0.7)	60 (0.7)	47 (0.6)	56 (0.7)	48 (0.6)
上記以外でINH耐性含む	326 (4.1)	326 (3.9)	322 (4.2)	293 (3.8)	324 (4.2)
上記以外でRFP耐性含む	26 (0.3)	13 (0.2)	17 (0.2)	20 (0.3)	29 (0.4)
その他耐性	586 (7.3)	420 (5.0)	371 (4.8)	380 (5.0)	366 (4.8)
HRSEすべてに感受性	7,048 (87.6)	7,546 (90.2)	6,890 (89.5)	6,844 (89.5)	6,806 (89.2)
HR感受性その他不明			54 (0.7)	52 (0.7)	57 (0.7)

平成25年からINH,RFP両剤感受性検査結果判明者を感受性検査結果判明とし、INH,RFP感受性その他不明の区分を追加した。

*平成23年は外国籍新登録結核患者数

平成27年の新登録肺結核培養陽性結核患者の薬剤感受性検査結果より、多剤耐性肺結核患者数(INH,RFP両剤耐性の者)は48人となっており、全新登録肺結核培養陽性結核患者の0.5%となっている。また、薬剤感受性検査結果が判明した者のうち、主要4剤(HRSE)全ての薬剤に対し感受性のある患者の割合は89.2%となっている。

表12. 年次別 新登録結核患者の糖尿病合併あるいはHIV感染

(() 内は構成比)

区 分	平成23年*	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
新登録結核患者数	22,681 (100.0)	21,283 (100.0)	20,495 (100.0)	19,615 (100.0)	18,280 (100.0)
糖尿病ありの者	3,117 (13.7)	3,036 (14.3)	2,964 (14.5)	2,753 (14.0)	2,686 (14.7)
なしの者	17,690 (78.0)	15,978 (75.1)	15,010 (73.2)	14,536 (74.1)	13,472 (73.7)
不明の者	1,874 (8.3)	2,269 (10.7)	2,521 (12.3)	2,326 (11.9)	2,122 (11.6)
HIV検査実施陽性者	75 (0.3)	62 (0.3)	50 (0.2)	45 (0.2)	40 (0.2)
HIV検査実施陰性者	11,146 (49.1)	3,266 (15.3)	1,890 (9.2)	1,627 (8.3)	1,474 (8.1)
HIV検査未実施者	-	4,601 (21.6)	5,090 (24.8)	4,970 (25.3)	4,697 (25.7)
不明の者	11,460 (50.5)	13,354 (62.7)	13,465 (65.7)	12,973 (66.1)	12,069 (66.0)

*平成23年のHIV感染はHIVあり、なし、不明の3区分

平成27年の新登録結核患者のうち、糖尿病を合併した患者は2,686人となっており、全新登録結核患者の14.7%となっている。また、HIV検査を実施した患者は1,514人で全新登録結核患者の8.3%に当たり、このうちHIV陽性だった者は40人で、全新登録結核患者の0.2%となっている。

表13-1. 年次別 医療従事者の新登録結核患者数（看護師・保健師）

(() 内は新登録に占める割合)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
総 数	350 (1.5)	294 (1.4)	234 (1.1)	249 (1.3)	219 (1.2)
15～19歳	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
20～29歳	77 (5.4)	55 (4.3)	41 (3.4)	48 (4.0)	32 (2.8)
30～39歳	106 (6.2)	105 (6.9)	59 (4.5)	84 (6.8)	63 (5.7)
40～49歳	84 (4.6)	69 (4.3)	76 (5.1)	60 (4.2)	61 (4.5)
50～59歳	64 (3.1)	49 (2.7)	47 (2.8)	44 (2.9)	47 (3.5)
60～69歳	16 (0.5)	12 (0.4)	8 (0.3)	12 (0.5)	15 (0.6)
70～79歳	2 (0.0)	4 (0.1)	2 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)
80歳以上	1 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

平成27年の新登録結核患者のうち、看護師・保健師の登録患者は219人であり、全新登録結核患者の1.2%となっている。年齢階級別では30～39歳が最も多く、同年齢階級の5.7%となっている。

表13－２．年次別 医療従事者の新登録結核患者数（医師）

（（ ）内は新登録に占める割合）

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
総 数	81 (0.4)	62 (0.3)	66 (0.3)	47 (0.2)	61 (0.3)
20～29歳	13 (0.9)	6 (0.5)	10 (0.8)	3 (0.3)	9 (0.8)
30～39歳	12 (0.7)	11 (0.7)	12 (0.9)	9 (0.7)	12 (1.1)
40～49歳	10 (0.5)	4 (0.3)	12 (0.8)	10 (0.7)	9 (0.7)
50～59歳	14 (0.7)	20 (1.1)	11 (0.7)	7 (0.5)	12 (0.9)
60～69歳	9 (0.3)	5 (0.2)	7 (0.2)	6 (0.2)	7 (0.3)
70～79歳	6 (0.1)	4 (0.1)	8 (0.2)	5 (0.1)	5 (0.1)
80歳以上	17 (0.2)	12 (0.2)	6 (0.1)	7 (0.1)	7 (0.1)

平成27年の新登録結核患者のうち、医師の登録患者は61人であり、全新登録結核患者の0.3%となっている。年齢階級別では30～39歳が最も多く、同年齢階級の1.1%となっている。

表13－３．年次別 医療従事者の新登録結核患者数（その他）

（（ ）内は新登録に占める割合）

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
総 数	242 (1.1)	280 (1.3)	281 (1.4)	255 (1.3)	264 (1.4)
15～19歳	2 (1.3)	0 (0.0)	2 (1.2)	0 (0.0)	1 (0.6)
20～29歳	39 (2.8)	54 (4.2)	49 (4.1)	46 (3.9)	48 (4.3)
30～39歳	62 (3.6)	68 (4.5)	67 (5.1)	55 (4.5)	62 (5.6)
40～49歳	63 (3.5)	71 (4.4)	59 (3.9)	60 (4.2)	61 (4.5)
50～59歳	49 (2.4)	53 (3.0)	69 (4.1)	56 (3.7)	53 (3.9)
60～69歳	22 (0.7)	29 (1.0)	29 (1.0)	27 (1.0)	29 (1.2)
70～79歳	3 (0.1)	4 (0.1)	2 (0.0)	9 (0.2)	9 (0.2)
80歳以上	2 (0.0)	1 (0.0)	4 (0.1)	2 (0.0)	1 (0.0)

(注) その他:理学療法士、作業療法士、検査技師、放射線技師等。
看護師・保健師・医師以外の医療機関に勤務する感染リスクの高い者

平成27年の新登録結核患者のうち、理学療法士、作業療法士、検査技師、放射線技師など、看護師・保健師・医師以外の者で医療機関に勤務する感染リスクが高い者の登録患者は264人であり、全新登録結核患者の1.4%となっている。年齢階級別では30～39歳が最も多く、同年齢階級の5.6%となっている。

表14－１．年次別 無職臨時日雇等の新登録結核患者数

(() 内は新登録に占める割合)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
合 計	1,920 (27.4)	1,637 (28.9)	1,440 (25.4)	1,280 (23.8)	1,172 (23.7)
20～24歳	98 (15.5)	74 (13.8)	72 (13.4)	81 (14.6)	72 (13.7)
25～29歳	142 (18.1)	122 (18.5)	107 (16.2)	103 (16.2)	86 (14.3)
30～34歳	186 (22.5)	146 (22.8)	123 (19.2)	104 (17.0)	95 (18.4)
35～39歳	208 (23.3)	177 (26.2)	145 (21.4)	133 (21.3)	107 (18.3)
40～44歳	258 (26.8)	232 (29.3)	196 (24.8)	157 (21.9)	161 (23.2)
45～49歳	245 (28.5)	227 (32.2)	198 (28.1)	196 (27.1)	179 (26.7)
50～54歳	330 (36.1)	251 (32.2)	245 (31.5)	226 (31.8)	202 (31.3)
55～59歳	453 (39.9)	408 (46.0)	354 (40.0)	280 (34.9)	270 (38.3)

(注) 無職臨時日雇等：接客業、医療従事者、他の常用勤労者・自営業等、家事従事者、学生を除く。合計は20歳～59歳の計。

表14－２．年次別 無職臨時日雇等の新登録結核患者数（男性、再掲）

(() 内は新登録に占める割合)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
合 計	1,165 (27.5)	1,012 (29.6)	830 (24.3)	734 (22.7)	699 (23.5)
20～24歳	50 (15.2)	26 (8.6)	33 (10.9)	38 (12.4)	38 (13.0)
25～29歳	71 (17.3)	63 (19.1)	44 (13.4)	39 (11.7)	39 (12.1)
30～34歳	79 (20.2)	63 (18.3)	54 (15.7)	44 (13.7)	33 (11.7)
35～39歳	96 (19.2)	94 (25.7)	62 (16.9)	75 (21.3)	56 (17.3)
40～44歳	154 (25.8)	140 (29.0)	106 (21.9)	82 (18.1)	89 (22.2)
45～49歳	165 (29.4)	146 (32.7)	130 (29.1)	120 (26.5)	116 (26.4)
50～54歳	225 (35.6)	178 (33.7)	161 (30.5)	141 (30.7)	126 (30.1)
55～59歳	325 (39.9)	302 (48.6)	240 (38.6)	195 (34.8)	202 (40.8)

(注) 無職臨時日雇等：接客業、医療従事者、他の常用勤労者・自営業等、家事従事者、学生を除く。合計は20歳～59歳の計。

平成27年の新登録結核患者のうち、登録時の年齢が20～59歳であって、登録時の職業が無職臨時日雇等であった者は1,172人となっており、20～59歳の全新登録結核患者の23.7%となっている。高齢層ほど患者数は多くなっており、55～59歳では同年齢階級の38.3%となっている。また、男性の患者に占める無職臨時日雇等の者の割合は、同年齢階級の40.8%となっている。